# 地球温暖化対策実施状況書

## 1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 (届出者) の名称	日本車輌製造株式会社
地球温暖化対策事業者 (届出者)の住所	名古屋市熱田区三本松町1番1号
工 場 等 の 名 称	日本車輌製造株式会社 鳴海製作所
工場等の所在地	名古屋市緑区鳴海町字柳長80番地
業種	製造業
業務部門における 建築物の主たる用途	工場
建築物の所有形態	自社ビル等 (自ら所有し自ら使用している建築物)
事業の概要	建設機械、発電装置の開発・製造・販売
計 画 期 間	平成26年4月1日 ~ 平成29年3月31日

## 2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公	表	期	間		平成27年	€6月25日	~	平成27年9月23日
					掲示 閲覧	(場所)		
公	表	方	法	0	ホームへ゜ーシ゛	(冊アドレス)	www.n-sharyo.	co. jp
	衣	Л	<b>公</b>		冊子	(冊子名・ 入手方法)		
					その他	(その他詳細)		
公表に係る問い合わせ先				N-1	HORI@cm.n	-sharyo.c	o. jp	

- 3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制
- (1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

全員参加の環境活動により、無駄の排除、省エネ・省資源・廃棄物の削減を推進し、

- 環境を重視した基礎機械、発電装置の開発、生産で社会に貢献します。 ・環境マネジメントシステムを確立し、環境目的、目標の設定及び定期的な見直しで、 継続的な改善を図り、汚染の予防に努めます。
- ・環境に関する法規制や自主管理基準等の当製作所が同意するその他の要求事項を 遵守します。

#### (2) 地球温暖化対策の推進体制

# 【機電本部担当執行役員】 機電本部長 【環境管理責任者】 鳴海製作所長 ↓ ← ISO14001事務局、ISO14001内部監査員 ↓ ← 安全衛生環境委員会 【各部長】 【全従業員】

#### 4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 1 年度目(平成 26 年度)の温室効果ガス排出の状況

①エネ,	ルギー起源二酸化炭素の排出量	1,669	t-CO2
泪①	②非エネルギー起源二酸化炭素(③を除く。)		t-CO2
<ul><li>(温①</li><li>二室を</li></ul>	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO2
酸効除	④メタン		t-CO2
化果く 炭ガ	⑤一酸化二窒素		t-CO2
素ス	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO2
換排	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO2
算出量	⑧六フッ化硫黄		t-CO2
	⑨エネルギー起源二酸化炭素 (発電所等配分前)		t-CO2
	温室効果ガス総排出量(①~⑨合計)	1,669	t-CO2

- 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況
- (1) 温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法 原単位排出量

項	目	基準生	基準年度の実績		基準年度の実績			目標 計画期間の実績								
世	Ħ	平成	25	年度	平成	28	年度	平成	26	年度	平成	27	年度	平成	28	年度
温室効     総 排	果 ガ ス 出 量			t-CO <sub>2</sub>			t-CO2			t-CO2	********	********	t-CO2	********	*********	t-CO2
削減率 (対	基準年度)	**********	*******	**********			%			%	**********	*******	%	********	*********	%
温室効力なし総	果ガス	********	*******	*******	*********	*********	*************			t-CO2	************	*******	t-CO2	***********	********	t-CO2
削減率(対	基準年度)	******	********	************	**********	********	************			%	**********	******	%	**********	**********	%

項目		基準年度の実績			目標		計画期間の実績									
4	Ħ	平成	25	年度	平成	28	年度	平成	26	年度	平成	27	年度	平成	28	年度
原単位あ	らたりの	3. 20	03	kg-C02	2 1	.07	kg-C02	2	03	kg-C02		******	kg-C02		*****	kg-C02
排出	1 量			/ h		.07	/ h	٥.١	03	/ h	******		/ h	*****		/ h
削減率 (対	基準年度)	********	*********	**********	3.	0	%	5.	4	%	*******	*****	%	*******	********	%
原単位あ	らたりの		******	*****		*****	**********			kg-C02		******	kg-C02	· se	******	kg-C02
みなし	排出量	******	*****		********					/ h	******		/ h	*****		/ h
削減率(対	基準年度)	**********	*********	********	***********	******	***********			%	*******	*****			*******	%

#### (2) 進捗状況に対する自己評価(目標の達成/非達成の理由)

工場が高操業状態にあり、エネルギーの使用効率も良いので、目標を達成している。

- 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
- 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排 出量の合算をいいます
- 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品
- の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。 備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス終排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再 生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

- 6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況
- (1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
一般管理	環境委員会の開催	毎月1回実施	実施継続中
省エネルギー・ 省資源の行動の 実践・冷暖房	・冷房28℃、暖房20℃を徹底する。	冷暖房使用時に 実施	実施継続中

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 1 年度目 (平成 26 年度) における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区 分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量(みなしの削減量)
電力		t-CO <sub>2</sub>
熱		t-CO <sub>2</sub>

(3) 環境価値(クレジット等)の活用の状況

計画期間 1 年度目 (平成 26 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量(みなしの削減量)
		t-CO <sub>2</sub>

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量(みなしの削減量)の合計

 $t-CO_2$ 

- (5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況
- ・老朽化したエアコン、溶接機を省エネタイプに更新。

- (6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況
- ・エアコンの点検日に推奨して、空調の効率化に努める。

#1 M7931F3 1 1 12		使用量		単位当た	り発熱量	熱量	CC	2排出係		CO2排出量
燃料の使用	月	1		2		①×②	3		考) ×44/12	$\begin{array}{c} \textcircled{1} \times \textcircled{2} \times \textcircled{3} \\ \times 44/12 \end{array}$
		数量	単位		単位	GJ	t-C/GJ	2/0	単位	t-C02
原油(コンデンセートを除く)	)	0.0	kL	38. 2	GJ/kL	0	0. 0187	2. 62	t-C02/kL	0
原油のうちコンデンセート(!		0.0	kL	35. 3	GJ/kL	0	0. 0184	2. 38	t-C02/kL	0
	工場等	0.0	kL	34. 6	GJ/kL	0	0. 0183	2. 32	t-C02/kL	0
揮発油(ガソリン)	自動車等	53. 5	kL	34. 6	GJ/kL	1,850	0. 0183	2. 32	t-C02/kL	124
ナフサ		0.0	kL	33.6	GJ/kL	0	0. 0182	2. 24	t-CO2/kL	0
灯油		41.5	kL	36. 7	GJ/kL	1, 524	0.0185	2.49	t-CO2/kL	103
#Z >h	工場等	69.6	kL	37.7	GJ/kL	2, 623	0.0187	2. 58	t-CO2/kL	180
軽油	自動車等	0.0	kL	37.7	GJ/kL	0	0.0187	2. 58	t-CO2/kL	0
4.毛油	工場等	3.8	kL	39. 1	GJ/kL	147	0.0189	2.71	t-CO2/kL	10
A重油	自動車等	0.0	kL	39. 1	GJ/kL	0	0.0189	2.71	t-CO2/kL	0
D. O.香油	工場等	0.0	kL	41.9	GJ/kL	0	0.0195	3.00	t-CO2/kL	0
B・C重油	自動車等	0.0	kL	41.9	GJ/kL	0	0.0195	3.00	t-CO2/kL	0
石油アスファルト	II.	0.0	t	40.9	GJ/t	0	0.0208	3. 12	t-C02/t	0
石油コークス		0.0	t	29. 9	GJ/t	0	0.0254	2. 78	t-C02/t	0
がたり/ブルルシュ(I DC)	工場等	70. 1	t	50.8	GJ/t	3, 562	0.0161	3.00	t-C02/t	210
液化石油ガス(LPG)	自動車等	0.0	t	50.8	GJ/t	0	0.0161	3.00	t-C02/t	0
石油系炭化水素ガス	1	0.0	千m3	44. 9	GJ/千m3	0	0.0142	2.34	t-CO2/千m3	0
液化天然ガス(LNG)	工場等	0.0	t	54.6	GJ/t	0	0.0135	2.70	t-C02/t	0
M文1L大然ル A(LNG)	自動車等	0.0	t	54.6	GJ/t	0	0.0135	2.70	t-C02/t	0
その他可燃性天然ガス		0.0	于m3	43.5	GJ/千m3	0	0.0139	2. 22	t-CO2/千m3	0
原料炭		0.0	t	29.0	GJ/t	0	0.0245	2.61	t-C02/t	0
一般炭		0.0	t	25. 7	GJ/t	0	0.0247	2. 33	t-C02/t	0
無煙炭		0.0	t	26. 9	GJ/t	0	0.0255	2. 52	t-C02/t	0
石炭コークス		0.0	t	29.4	GJ/t	0	0.0294	3. 17	t-C02/t	0
コールタール		0.0	t	37. 3	GJ/t	0	0.0209	2.86	t-C02/t	0
コークス炉か、ス		0.0	千m3	21. 1	GJ/千m3	0	0.0110	0.85	t-CO2/千m3	0
高炉がス		0.0	∓m3	3.4	GJ/千m3	0	0.0263	0.33	t-CO2/手m3	0
転炉ガス		0.0	∓m3	8.4	GJ/∓m3	0	0.0384	1. 18	t-CO2/手m3	0
都市ガス(東邦ガス)	工場等	0.0	千m3	46.0	GJ/千m3	0	0.0140	2.36	t-CO2/手m3	0
,	自動車等	0.0	千m3	46.0	GJ/千m3	0	0.0140	2.36	t-CO2/手m3	0
その他燃料		0.0				0		0.00		0
その他燃料		0.0				0		0.00		0
	/	小計				9, 706				628
		//. III I	, 1			45.17		- 111 . 1 . 1-	Mer	
他人から供給さ	られた	使用量	直	単位当た		熱量	CC	2排出係	数	C02排出量
電気及び熱の		4. E	277.74	(5)		4×5		6	227.44	4×6
上如香土/口用四香)		数量	単位	0.07	単位	GJ	0 4	60	単位	t-C02
中部電力(昼間買電)		2, 219. 3	千kWh	9. 97	GJ/千kWh	,	0.4		t-CO2/手kWh	1, 041
中部電力(夜間買電)		0.0	手kWh	9. 28	GJ/千kWh	-	0.4	บษ	t-C02/千kWh	0
上記以外の買電 産業用蒸気		0.0	千kWh	9. 76	GJ/千kWh		0.0	60	t-C02/手kWh	0
産業用  産業用  以外の  蒸気		0.0	GJ	1. 02	GJ/GJ	0	0.0		t-C02/GJ	0
温水		0.0	GJ	1. 36	GJ/GJ	0	0.0		t-C02/GJ t-C02/GJ	0
冷水		0.0	GJ	1. 36	GJ/GJ	0	0.0			0
上記以外の熱		0.0	GJ GJ	1. 50	GJ/GJ	0	0.0	<i>31</i>	t-C02/GJ t-C02/GJ	0
ユーロレクノトソンボ	,	<u> </u>	ъJ		GJ/GJ	22, 126			ι=c02/GJ	1, 041
	/	1,11				44, 140				1,041
		<b>合計</b>				⑦ 31,832				® 1,669
	1	<b>□</b> 申I				1 31, 632				0 1,009
自ら生成した熱の他者	への供給※	0.0	G.J		GJ/GJ	0			t-CO2/GJ	
	· · · / 175 /\n /\^*		于kWh		GJ/任kWh	-			t-CO2/GJ t-CO2/手kWh	
		() ()			UJ/   KWfl	U			0 004/   KWII	
日り生成した電気の他も	者への供給※		Kuii			(i) (i)				100
日り生成した電気の他4	者への供給※	<u>0.0</u>	K**11			9 0				10
	者への供給※ 「	合計		)) ∨ 0 0	259	9 0	001			
原油換算エネルギー	者への供給※ イ ルギー使り	合計 用量 (()	7)-(9)	)) ×0.0 (8)-(10)		9 0	821 1, 66			100 kL t-C02

【事業所の規模】

延床面積

28, 757. 00

 $m^2$ 

## 【自動車等の数】

1

単位(台)

_	•	
燃料の種類	乗用	貨物
ガソリン	16	
軽油		1
LPG		
天然ガス		
電気		

# ②その他の輸送機械

種別	数	単位
鉄道		両
船舶		隻
航空機		機

(以下は該当する場合に記入して下さい)

【排出量抑制目標に原単位排出量を用いる場合】

温室効果ガスの抑制の目標設定方法 原単位排出量

原単位の指標	数量	単位
労働時間	550, 761. 00	h

### 【みなし排出量の算定に用いたクレジット等の温室効果ガス換算量】

クレジット等の種類	創出地	購入量	換算式	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
				t-C02

区分	再生可能エネルギー等 の種類	他のものへの 供給量	換算式	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電気		kWh	× 0.000469	t-C02
熱		GJ		t-C02